

船舶事故調査報告書

平成28年11月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年6月29日 03時05分ごろ
発生場所	岡山県笠岡市コゴチ島南岸 沖ノ白石灯台から真方位026°430m付近 (概位 北緯34°25.2′ 東経133°31.0′)
事故の概要	液体化学薬品ばら積船第三蛭子丸は、東北東進中、左旋回してコゴチ島南岸に拡張する干出浜（岩）に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年6月29日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	液体化学薬品ばら積船 第三蛭子丸、199トン
船舶番号、船舶所有者等	135171、有限会社蛭子海運
乗組員等に関する情報	航海士、六級（航海）
負傷者等	なし
損傷	船底外板に亀裂及び凹損
気象・海象	気象：天気 雨、風 なし、視程 約2海里 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期
事故の経過	本船は、船長及び航海士ほか1人が乗り組み、船首約0.8m、船尾約2.6mの喫水で、白石瀬戸のコゴチ島南岸沖を約10.5ノットの対地速力で東北東進中、航海士が、本船の右舷側に見て通過できると思っていた漁船が右舷船首間近に接近したので、衝突を避けようと左舵一杯としたところ、コゴチ島南岸に向けて航行し、同島南岸の干出浜に乗り揚げた。 航海士は、夜間、白石瀬戸を航行した経験がなかった。 航海士は、コゴチ島南岸に干出浜が拡張していることを知っていた。
分析	本船は、航海士が、右舷船首間近に漁船が接近したので、同漁船を避けようと左転したことから、コゴチ島南岸に向けて航行し、同島南岸の干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、航海士が、漁船を避けようと左転したため、本船がコゴチ島南岸に向けて航行し、同島南岸の干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・浅瀬が存在する海域付近を航行中に他船を避ける場合には、変針せず、減速による方法を考慮すること。